

このサポートブックを入手するには

「がん診療連携拠点病院」・「群馬県がん診療連携推進病院」
のがん相談支援センター及び各市町村担当課にて、
希望者にお配りしています。



孺恋村

@imomin.photo

- 署 名 **ぐんまの安心がんサポートブック
～サポートブックはサポートします～(第13版)**
- 発行年月 令和6年3月
- 発 行 群馬県
- 編 集 群馬県健康福祉部健康長寿社会づくり推進課
(※令和6年4月1日から所管変更)
〒371-8570 群馬県前橋市大手町1-1-1
電話 027-226-2614 (直通)
FAX 027-243-2044
- 協 力 群馬県医師会
群馬県薬剤師会
群馬県がん患者団体連絡協議会
群馬県がん対策推進協議会
群馬県がん診療連携協議会
群馬県がんピアサポーター有志
- 写 真 群馬県の魅力を発信するSNS投稿事業「ぐんま応援びと」
(<https://www.pref.gunma.jp/page/16064.html>)

～サポートブックはサポートします～

大切なあなたの心が
少しでも和らぐことを願って

このサポートブックは、がんと診断された方、がんを治療中の方、がんの再発に不安を感じている方や、家族のがんを心配されている方に役立つ情報を、わかりやすくまとめています。（特に記載がない場合は、令和6年3月現在の情報）

様々な立場のサポーターが、どのようにがん患者さんをサポートするのかが書かれています。

県民の皆さんも、是非、このサポートブックを読んで、がんのことを考え、地域や職場も一体となって「支え合う社会」をつくりましょう。

群馬県健康福祉部健康長寿社会づくり推進課
(※令和6年4月1日から所管変更)

目次

フローチャート

がんの 疑い

第1章 がんが心配なとき～あなたを支えるかかりつけ医・かかりつけ薬剤師～

- ・あなたを支える「かかりつけ医」 1ページ
- ・薬局は、薬や健康のことを相談できるパートナーです 4ページ
- ・がんピアサポーターからのメッセージ①がんが与えてくれたもの「出会いと感謝」 5ページ

がんの 診療

第2章 がんの診断～がん診療を行う病院と相談支援センター～

- 1がんを診断されたら
 - ・知っておきたい 医師のアドバイス「上手な医療機関のかかり方」 7ページ
- 2がんの診断のための検査
 - ・画像診断、細胞や組織の検査、血液検査 9ページ
- 3がんの診療を行う病院と相談支援センター
 - ・がん診療連携拠点病院、群馬県がん診療連携推進病院概要、小児がん連携病院、がんゲノム医療連携病院概要、一覧、地図 10ページ
 - ・相談支援センター、セカンドオピニオン、がんサロン 13ページ
 - ・がん診療連携拠点病院等の相談支援センター、セカンドオピニオン、がんサロン等紹介 14ページ
 - ・アピアランスケアに関するリーフレット 32ページ
 - ・よくある問い合わせ～がん相談支援センター相談員より～ 33ページ
- 4がんの治療と仕事の両立を支援します
 - ・さんぽセンターでの治療と仕事の両立支援について 35ページ
 - ・ハローワークでの治療と仕事の両立支援について 36ページ
 - ・がん相談支援センターでの治療と仕事の両立支援について 37ページ
- 5がん治療と妊娠について
 - ・AYA世代のがん治療と子どもを持つこと 38ページ
 - ・妊よう性温存療法について 39ページ

治療の 準備

治療の 開始

第3章 がんの治療～がんの治療方法、セカンドオピニオン、自宅での療養～

- 6がんの治療
 - ・治療法を考える 41ページ
 - ・免疫療法 47ページ
 - ・がんゲノム医療 49ページ
 - ・がんの再発・転移 50ページ
 - ・がんの補完代替療法について 51ページ
 - ・がん治療と歯科治療について 52ページ
 - ・希少がんの相談窓口について 53ページ
 - ・セカンドオピニオン～治療方針に悩んだら～ 54ページ



7「緩和ケア」～がんと診断された時から～	
・「緩和ケア」を知っていますか？	55ページ
・緩和ケアチーム・緩和ケア病棟	55ページ
・緩和ケア病棟の紹介	56ページ
8自宅で過ごす	
・家でよりよい日々を送りたい	59ページ
・がんピアサポーターからのメッセージ②「治療法について」	61ページ

支え
合い

第4章 退院後の生活～病院と地元医療機関の連携・サポート制度～

9病院と地元の医療機関が連携しています	
・地域連携クリティカルパスについて	63ページ
・がん患者さんの在宅療養を支える病院・診療所一覧	64ページ
10療養生活を送る上での困りごと	
・お金のサポート制度	68ページ
・生活のサポート制度	70ページ
・地域包括支援センター	72ページ
・若年がん患者在宅療養支援事業	73ページ

第5章 支え合える仲間～患者団体とがんサロン～

11支え合える仲間	
・がん患者団体～仲間に会おう～ 群馬県がん患者団体連絡協議会	75ページ
・がん患者団体、主催するサロンの紹介	76ページ
・がんピアサポーターからのメッセージ③心が軽く～サロンでの仲間との出会い～	88ページ
・参考「情報を探す」HP・冊子のご紹介	89ページ

第6章 小児・AYA世代のがん

12小児およびAYA世代のがん	91ページ
13小児・AYA世代向けがんサロンの紹介	95ページ
14群馬県小児・AYA世代のがん患者等の妊孕性温存療法等助成事業のご案内	96ページ

◆群馬県のがん対策に協力する企業等	98ページ
-------------------	-------

リレー・フォー・ライフ・ジャパンにご参加ください

リレー・フォー・ライフは、がんと闘う方々の勇気をたたえ、がん患者や家族、友人、支援者と共に地域一丸となってがんと闘う連帯感を育み、がんで悩むことのない社会を実現するために、夜通し交代で歩きながら行うチャリティーイベントです。

1985年、アメリカ・ワシントン州のタコマで、一人の医師が陸上競技場のトラックを24時間走り続け、アメリカ対がん協会への寄付を募ったことが、このリレー・フォー・ライフのはじまりです。「がん患者は24時間、がんと向き合っている」という想いを共有し、がん患者を支援するためでした。現在、世界30か国4,500か所で開催、日本全国でも約50か所で開催されています。

群馬県では、2013年に初めて開催されて以来、多くの企業や関係団体からご支援をいただき、参加者数・募金額ともに全国最大級の規模に成長しました。

11年目となった今年は、コロナ禍前の規模に戻し、5年ぶりの夜越え開催となりました。熱意あふれる方々の努力により、ぐんまのリレーは深夜も途絶えることなく続き、無事ダウンパープルの朝を迎えることができました。

リレー・フォー・ライフ・ジャパンぐんまは、このチャリティーイベントがさらに盛り上がっていくよう、内容をいっそう充実させていく予定です。

このイベントはどなたでも参加できます。がんに負けない群馬をつくるため、多くの皆様のご参加をお待ちしています！



リレー・フォー・ライフ・ジャパン2023ぐんま



リレー・フォー・ライフ・ジャパンぐんま

実行委員長 大島 主好

(事務局 群馬県健康づくり財団 企画広報課)